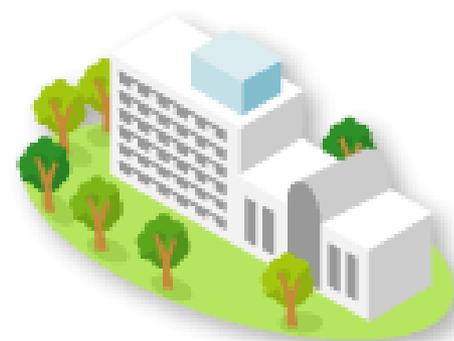


# シルウォッチご提案資料

企業における  
聴覚障害者等就労支援のご提案

2024年9月20日



# □シルウォッチとは

## 双方向シルウォッチシステム

### 現場が変わる。働き方が変わる。

各種センサーからの信号を受けて必要な情報を強力な振動と文字を無線で通知します。



### シルウォッチシステムだからできる6つの特徴

- |   |                        |   |                           |
|---|------------------------|---|---------------------------|
| 1 | 仕事に集中していても情報を見逃さない     | ▶ | 強力な振動で作業中でも確実に通知！         |
| 2 | 何かが起きた、ではなく何が起きたかを知らせる | ▶ | 全角10文字、半角20文字のメッセージ表示が可能！ |
| 3 | 無駄な動きを防ぐ               | ▶ | 応答機能によりバッティング防止！          |
| 4 | 様々な入力に対応               | ▶ | 5つの入力とシリアル通信でメッセージが送信可能！  |
| 5 | 腕時計から呼出                | ▶ | 1台のシルウォッチで3つのメッセージ送信が可能！  |
| 6 | 全体呼出・個別呼出              | ▶ | 通信設定により全体送信や個別送信が可能！      |

**運用方法** 送受信器本体にボタン入力2点・接点入力2点・音/光入力1点・USBポート・RS232C入力が可能です。

#### 作業員やスタッフの呼び出しコール

ボタン入力でメッセージ送信 (2点)



メッセージ例：  
「1号機 停止中」  
「リフトマン呼出」など

#### センサーや設備リレー出力

無電圧接点信号でメッセージ送信 (2点)



メッセージ例：  
「設備3号機材料不足」  
「水位上昇 至急対応」  
など

#### PLCやPCソフトから通知

RS232C や USB のシリアル通信 (制限無)



システムにシルウォッチコマンドをプログラムする必要があります。

#### 音や光に反応して通知

音か光でメッセージ送信 (1点)



メッセージ例：  
「赤ライト 点灯」  
「警報作動!!」など

#### 通信距離

特定小電力429MHz帯を使用している為、壁や障害物が合っても周り混む特徴があります。

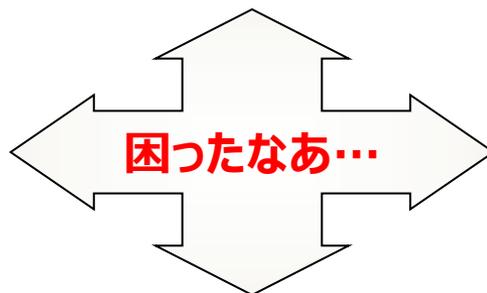


## □聴覚障害者の従業員採用における課題



呼びかけに気がつかない…  
業務に集中してしまうと聞こえないこともしばしば。  
対応に遅れることもあるな…

始業/終業、昼休み始まり/終わり等の  
時報が聞こえないため、聴覚障害の  
従業員にだけ負担がかかってるな…  
どうしても時間通りにいかないこともあるな…



火災など災害があった際の警報通知は  
どうしたらいいんだろう…  
逃げ遅れが心配…

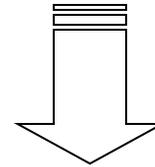
アナウンスでの呼び出しもできない…  
どこにいるかもわからないため、部屋を探すか、  
戻ってくるまでひたすら待つか、大変だな…



## □ 課題解決策

### 課題解決策

- ①シルウォッチを導入することで、どこにいても様々な情報を強い振動で通知し直接時計の画面にてメッセージで伝えられるようになる。
- ②時報や警報を健聴者と同タイミングで知らせることができ、正確な業務始終通知や災害時の逃げ遅れ防止のための大きな対策の一つとなる。



### 効果

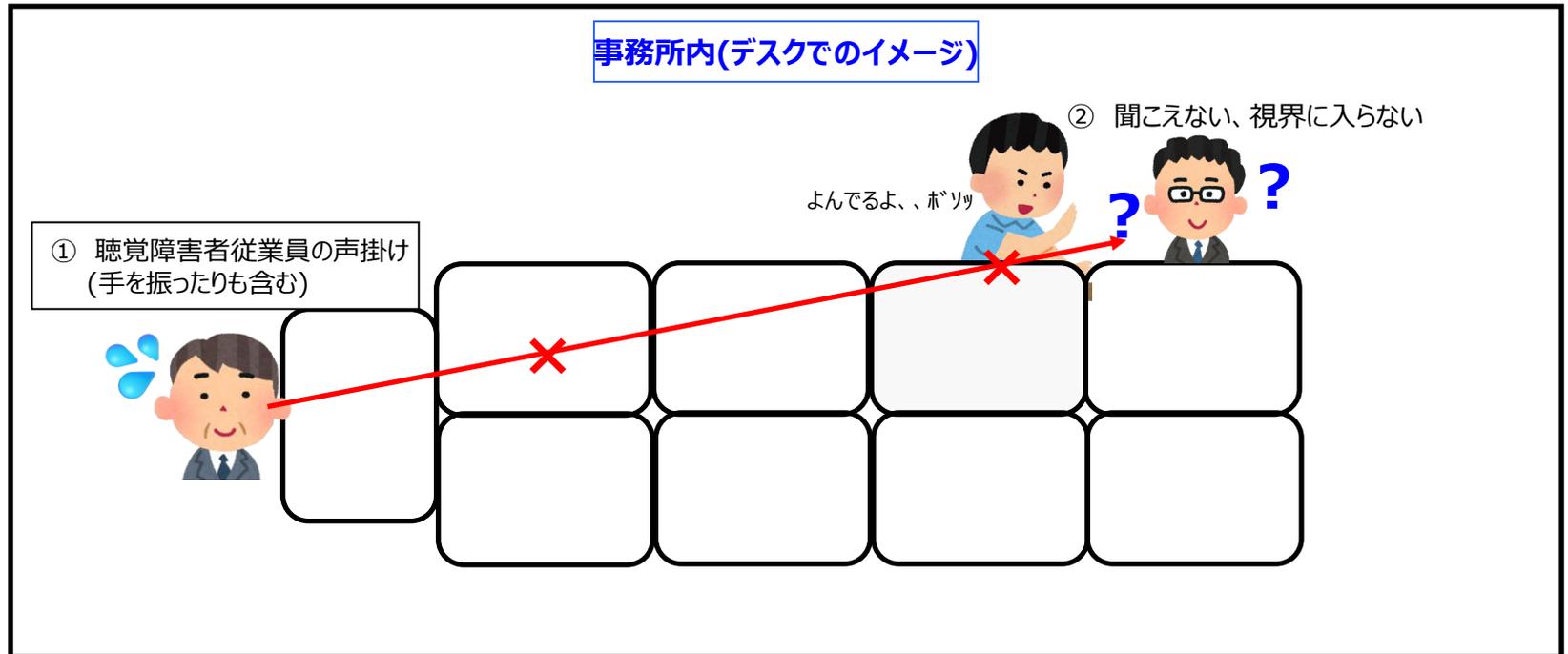
言語コミュニケーション以外の音に対する情報保証が賄える。

### メリット

腕時計型なので、PHSと違い作業の邪魔にならない（落とすこともない）

# □ 現状の問題（１）・・・呼び出しが聞こえない

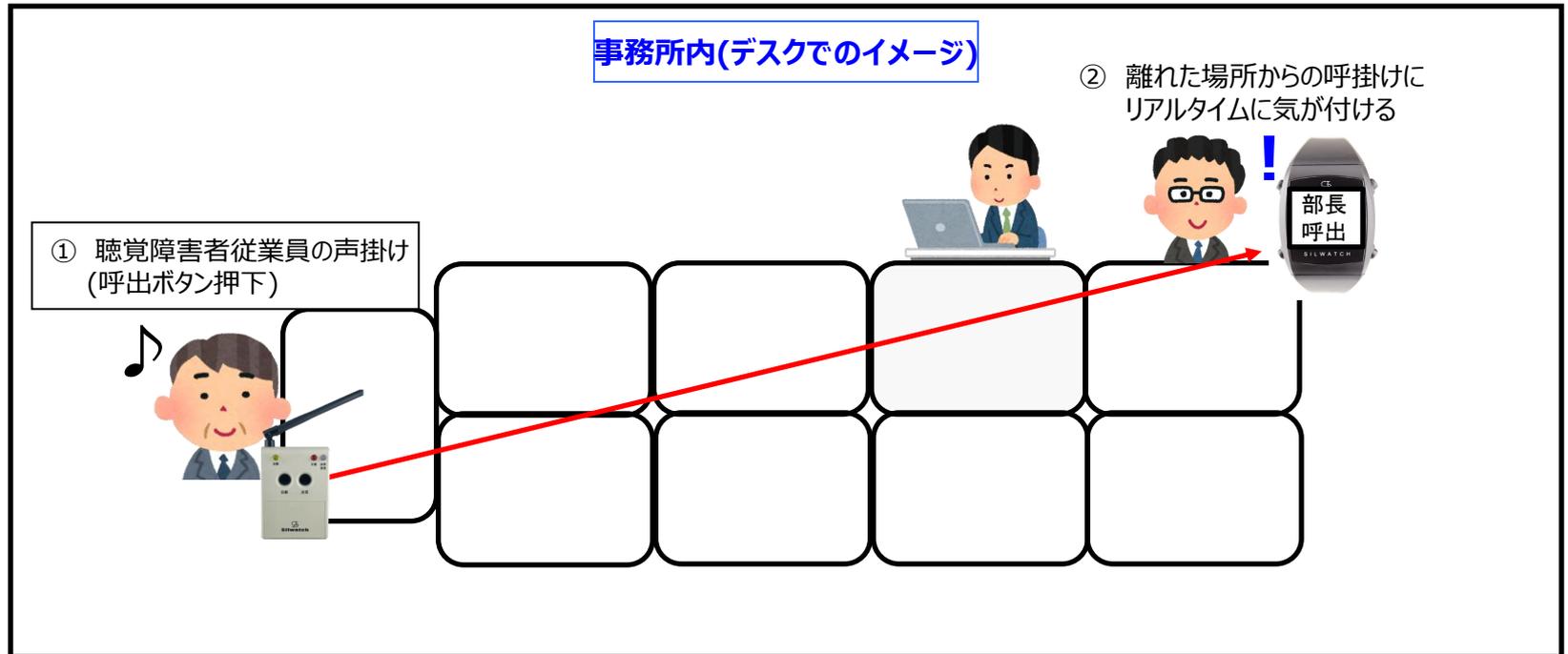
フロア簡略図



業務(作業)中集中していると呼びかけに気がつきにくく、近辺の人のサポートが必要なケースが多い。

# □ 現状の問題（１）・・・呼び出しが聞こえない

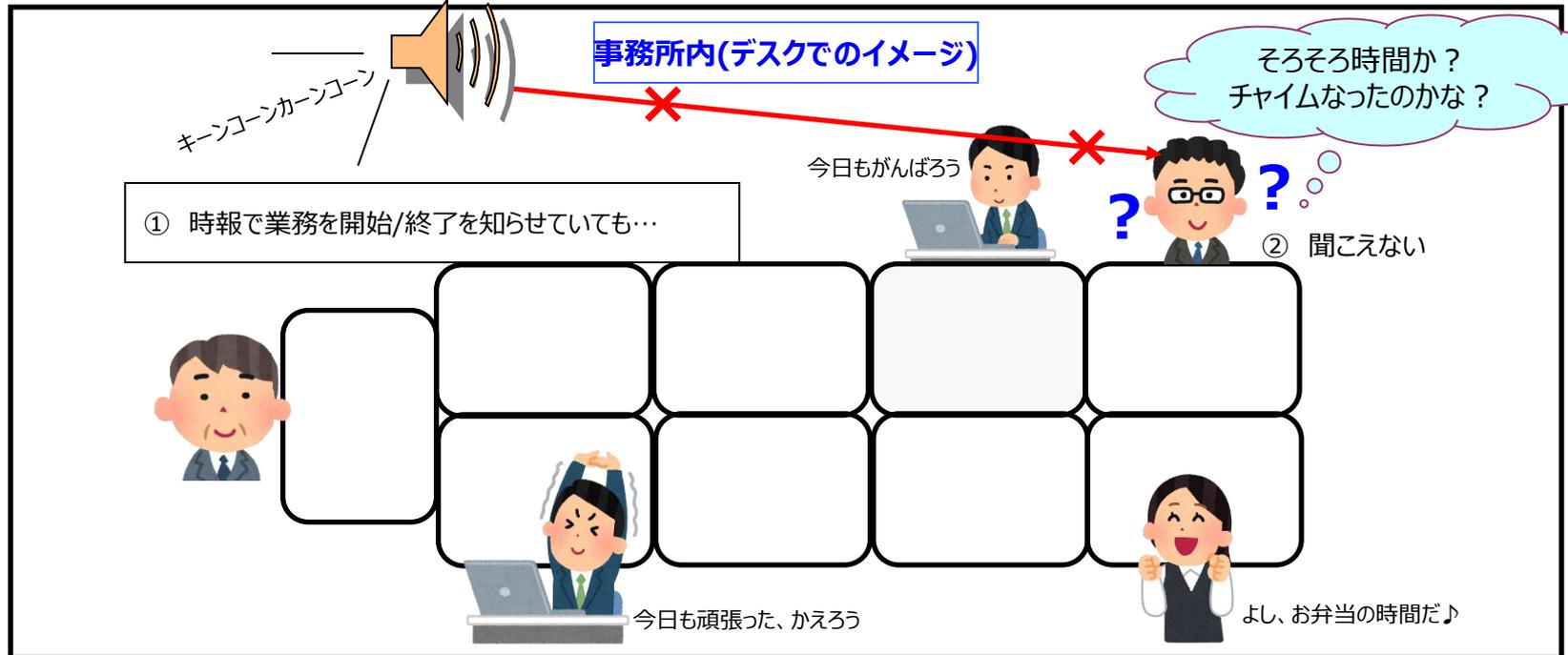
フロア簡略図



呼び出しは送受信器のボタンを押すだけでできます。  
メッセージは初期設定で変更ができ、別の部屋にいても通知可能です。

□ 現状の問題（２）・・・時報(チャイム)が聞こえず、始業/終業、昼休み開始/終了がわからない(聴覚障害者だけ現時刻で把握が必要)

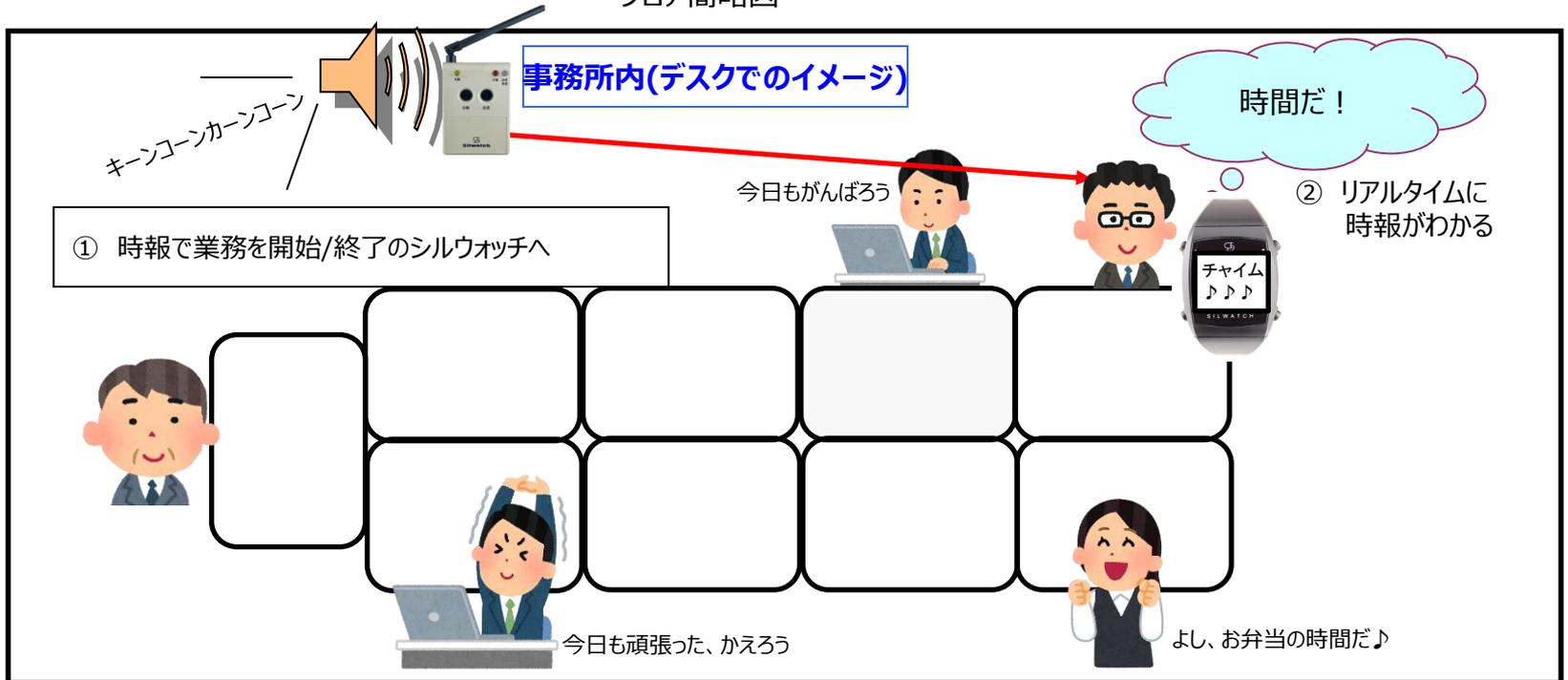
フロア簡略図



チャイムが聞こえず聴覚障害者従業員だけ、自身で時刻や周りの様子で把握が必要。

□ 現状の問題（２）・・・時報(チャイム)が聞こえず、始業/終業、昼休み開始/終了がわからない(聴覚障害者だけ現時刻で把握が必要)

フロア簡略図



チャイムが鳴ったことがリアルタイムに聴覚障害者従業員へ通知され、健聴者と同じようにチャイムベースで時間の管理が可能。

□ 現状の問題（3）・・・警報が聞こえない



今日の晩御飯なんだろう？

② 聞こえない



WC

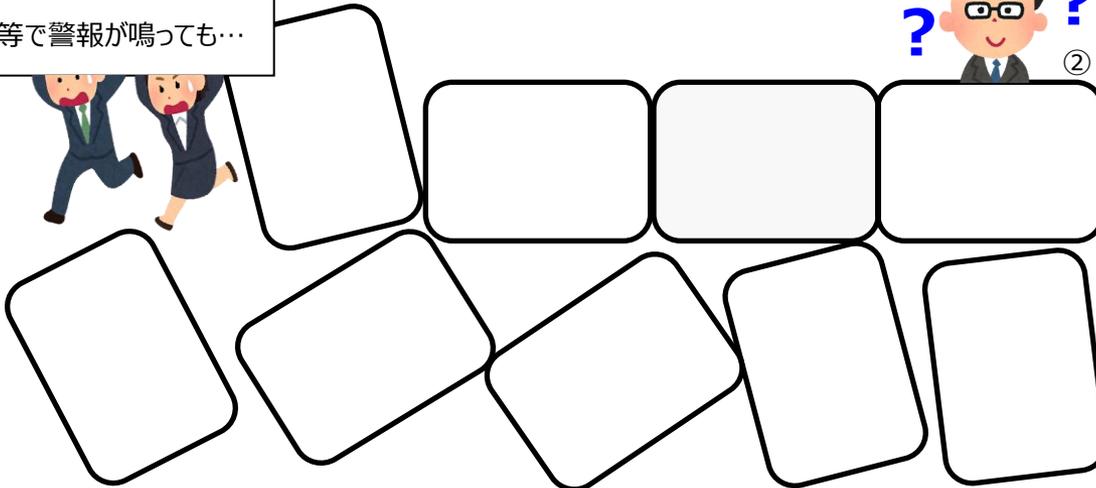
フロア簡略図

事務所内(デスクでのイメージ)

なに？なに？

① 火災等で警報が鳴っても...

急いで逃げなきゃ



② 聞こえない



火事だ火事だ

警報が聞こえず聴覚障害者従業員だけ周りの様子で把握が必要。  
避難には状況が把握できているサポートが必須。  
トイレや一人でいるタイミングなどでは状況がまったくわからず逃げ遅れとなる可能性があります。

# □ 現状の問題（3）・・・警報が聞こえない



フロア簡略図

② リアルタイムに警報がわかる

火事だ！逃げなきゃ！



WC

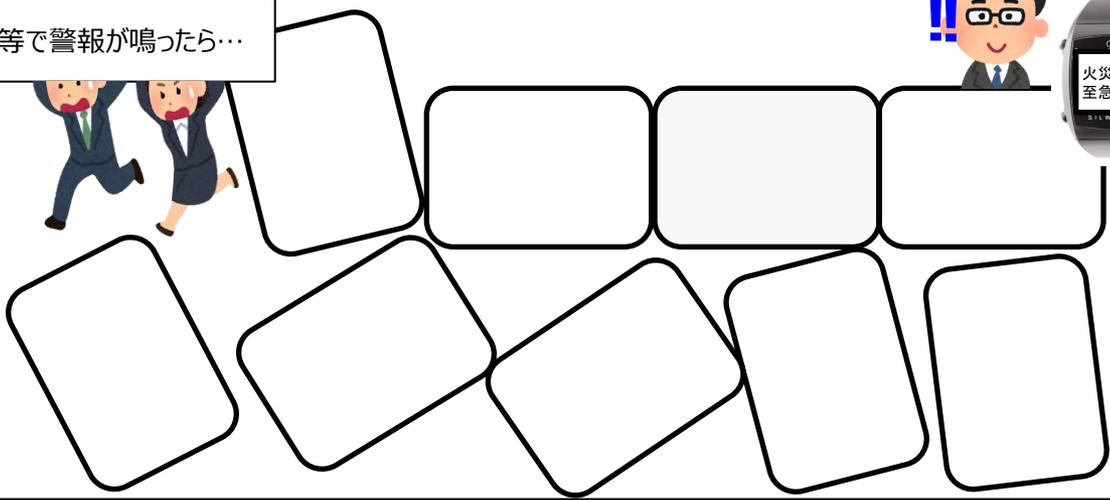
事務所内(デスクでのイメージ)

避難しなきゃ！  
みなと同じ方向へ！！

② リアルタイムに警報がわかる

① 火災等で警報が鳴ったら...

急いで逃げなきゃ



火事だ火事だ

クウクウ

警報が鳴ると聴覚障害者従業員にもリアルタイムに警報情報を通知します。  
皆と同じところにはないタイミングでも通知がされるので逃げ遅れの防止になります。

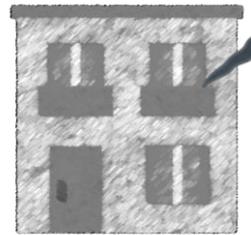
# □ 現状の問題（3）・・・警報が聞こえない

おーうい、みんないるか！！

① 安否確認送信

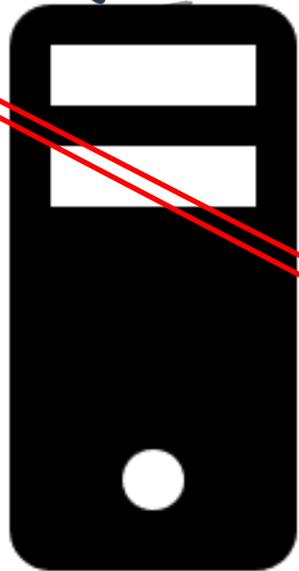


② 安全確認応答



フロア簡略図

事務所内(デスクでのイメージ)



② 安全確認応答



災害等発生後、システムが生きていればそのまま安否確認にも使用できます。

② 警報がわかる

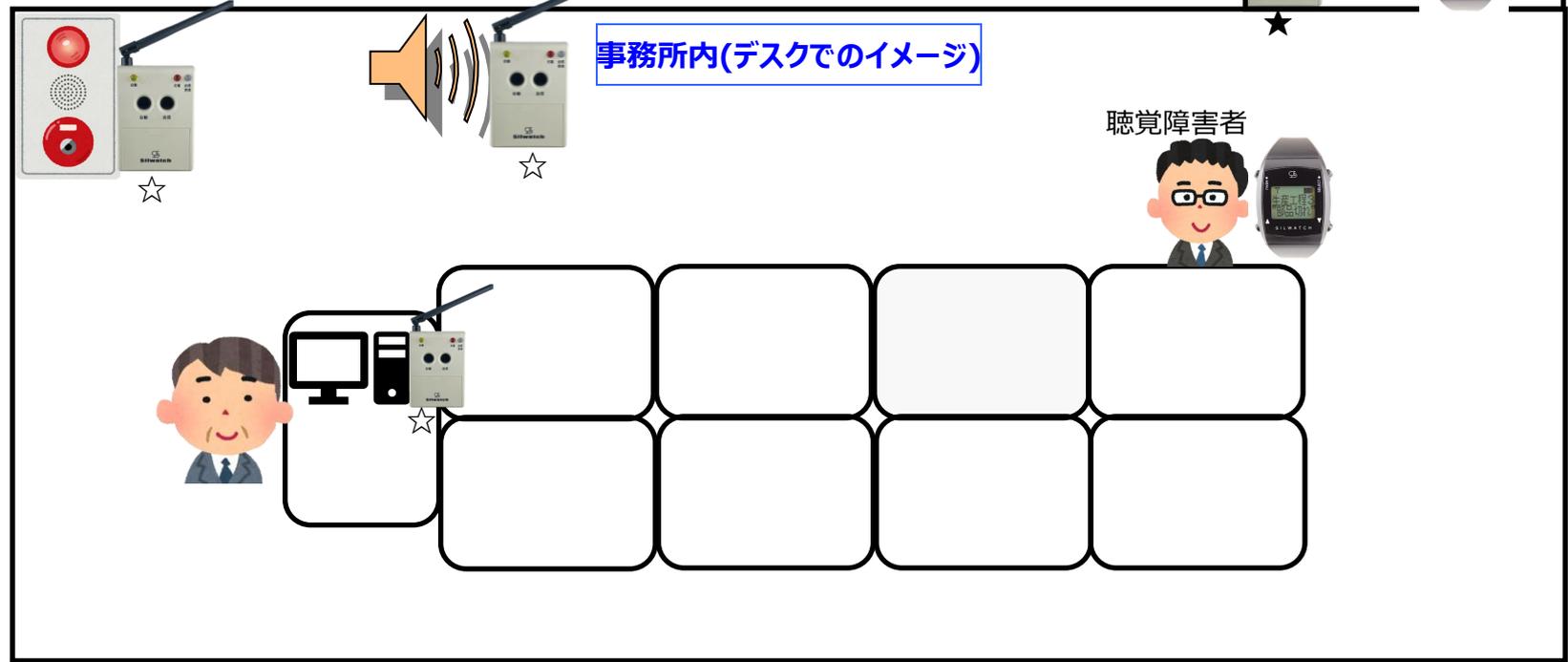
WC

# □ 取付イメージ

フロア簡略図

事務所内(デスクでのイメージ)

聴覚障害者



送信器 = ☆

中継器 = ★



受信器 = 聴覚障害者従業員が所持

## □ システム構成図例①

①ボタン押下で呼び出し



送受信器

②ボタンが押されると送受信器は受信器に信号を送信

無線

③シルウォッチ、キューブライトが受信。  
光、振動、文字、音で情報を伝達

シルウォッチ  
振動+文字

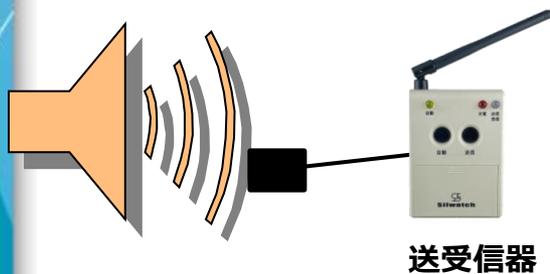


キューブライト  
光+音+振動+文字



## □ システム構成図例②

①マイクセンサーでチャイム音を感知



②送受信器が、マイクセンサーからの信号を感知し、受信器に信号を送信

無線

③シルウォッチ、キューブライトが受信。  
光、振動、文字、音で情報を伝達

シルウォッチ  
振動+文字



キューブライト  
光+音+振動+文字



## □ システム構成図例③

①警報の外部出力端子から警報信号をキャッチ



②送受信器が、外部出力端子からの信号を感知し、受信器に信号を送信

無線

③シルウォッチ、キューブライトが受信。  
光、振動、文字、音で情報を伝達

シルウォッチ  
振動+文字

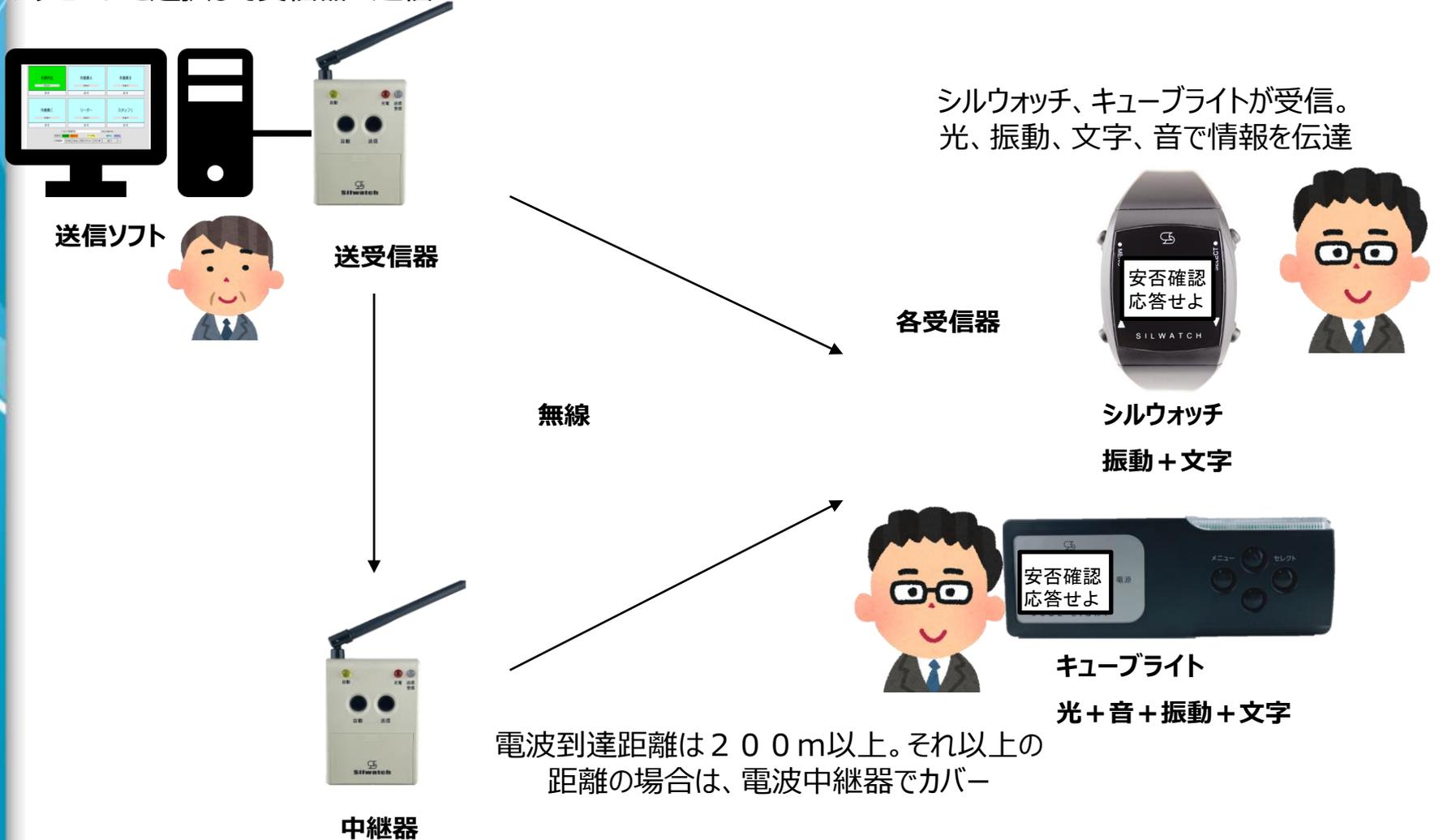


キューブライト  
光+音+振動+文字

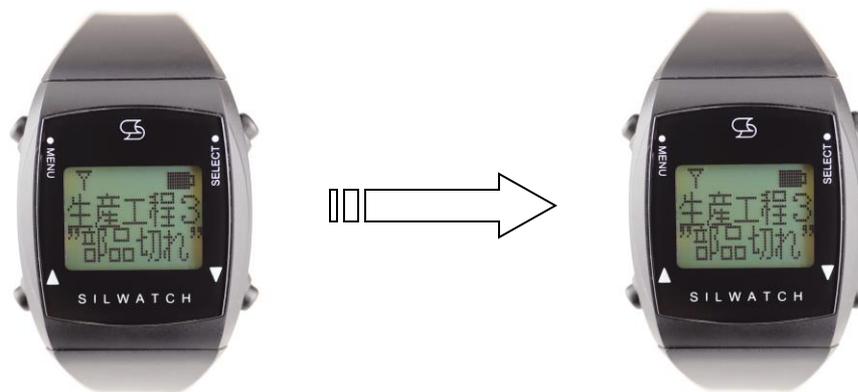


## □ システム構成図例④

パソコンに送信ソフトをインストールし  
メッセージを選択して受信器に送信



障害者雇用率が上昇する中、  
聴覚障害者を雇う際に心配となる「情報保証」を  
シルウォッチで解決！



**腕時計同士の呼出しも可能です。**

**工夫によりご利用の幅は無限大**

聴覚障害者従業員へ  
确实伝達！

